



大規模災害に備えて

世界中に新型コロナウイルスの感染が拡大し、国内でも緊急事態宣言が出される大変な事態となっています。そんな大変な毎日が続いているますが、昨年は台風により全国的に大きな災害が発生し、長野県内においても堤防の決壊などにより甚大な被害が発生しました。

まもなく梅雨シーズンを迎えるが、異常気象による大雨等の自然災害、南海トラフ地震など大規模災害に備え、いまいちど地域の危険個所を確認し、災害から命を守るために備えを万全にしておくことが必要ではないでしょうか。

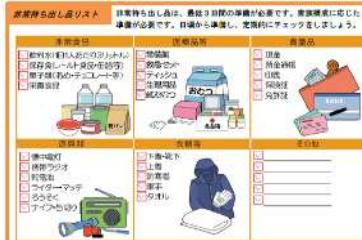


台風による塩川の災害状況 (平成30年9月)

ハザードマップの活用

ハザードマップとは被害予測地図（ひがいよそくちず）と呼ばれ、自然災害による被害を予測して、被害範囲を地図にしたものです。災害危険区域や避難場所、関係機関の連絡先などの情報が地図上に記載されています。大鹿村では大河原地区と鹿塩地区に分けてハザードマップが作成されています。

「大鹿村 災害時の心がけ」より



非常持ち出し品リストを
活用し必要な物を準備を
しておきましょう！



新型コロナウイルスの影響で退屈に家にこもりがちな今、ハザードマップ等を活用し、ご家族全員で災害時的心がけをウチで過ごして
(STAY HOME) 確認することで、コロナウイルス感染拡大を防ぐ一つの対策となり、また、家庭内で防災意識を向上させるという2つの効果が得られるかもしれません。

出典：大鹿村ホームページ

ライブカメラの活用

村内の川の流れの状況や雨量等については、
天竜川上流河川事務所ホームページからスマホ
やパソコンでリアルタイムに確認することができます。また、長野県河川砂防情報ステーションのホームページにおいても県内の雨の動きが確認できます。

ご家庭でもこのような情報を確認して、いざという時に役に立てましょう。

工事現場においても、このような情報を活用し、現場周辺の状況を確認することで、安全に工事を進めることができます。



村内を確認
できるライブ
カメラ8台



雨量観測所（鹿塙、
沢井、落合、
大河原、釜沢、
松の田、上野々）
7箇所



【小渋川砂防出張所管内 現場の紹介】

令和元年度 天竜川水系滻沢第1砂防堰堤改良工事
株式会社 ヤマウラ



令和2年3月から堰堤上流側の床掘りと、法面の崩落を防止する受圧板アンカーエクスパンション工事を逆巻工法で施工しています。床掘りは深さ9m（計画13m）まで進んでいます。

今後も安全第一で工事を進めて参ります。工事中は地域の皆様にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事進捗率(4月末時) 24%



Yamaura

現場代理人兼 監理技術者
下出 知宜

令和2年度 天竜川水系小渋川砂防管内整備工事
大協建設株式会社



小渋川砂防出張所の管内におきまして整備工事を施工しています。工事期間中は大変ご迷惑をお掛けしますが、安全に十分配慮し工事を進めて参りたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

工事進捗率(4月末時) 1%



TAIHEYO 大協建設株式会社

現場代理人兼 監理技術者
宮下 剛彦

「塩川床固工群」を上空から望む

塩川床固工群事業も着々と進んでいます（大協建設（株）は3号・4号・5号床固工等を施工）」

リニューアルオープンした
「塩の里直売所」

本年度の整備工事において、舗装等の周辺整備を行って、塩川へのアクセスを良くする予定です！

